

日本精鉱

アンチモン全製品

6月、32円引き上げ

日本精鉱は17日、アンチモン、金屬アンチモン全製品(三酸化アンチモン、アンチモン酸ソーダ、三硫化

アンチモン、金屬アンチモン)の製品加工費を、6月1日納入分よりキロ32円引き上げる

と発表した。包装資材や副資材、エネルギー。物流費などの上昇を販売価格に反映させ

る。今後もコスト上昇の動向に心し、価格改定を継続的に行う。

アンチモン製品の販売価格はアンチモン地金の相場に連動する原料費と、固定されている加工費からなる。今回は加工費の値上げで、原料相場の変動は従来通り順次改定されている。

同社主力製品の三酸化アンチモンは難燃助剤に用いられる。アンチモン製品の需要回復で原材料の需給がひっ迫。さらにウクライナ危機などで各種コストが上昇し収支を圧迫していた。企業努力で吸収できる水準を超えたとし、安定供給と品質維持にはコスト上昇分の販価への転嫁が必要と判断した。